

患者様へ

「二分正中神経・正中動脈が手根管症候群の発症に与える影響の研究」

についての説明文書

これから臨床研究について説明文書によりご説明します。

臨床研究への参加に同意していただけるかどうかは、あなたの自由な意思によるもので、誰からも強要されるものではありません。

あなたが、臨床研究への参加に同意できない場合には、遠慮なく申し出てください。参加に同意していただけない場合でも、今後の診療や治療に不利益が生じることはありませんのでご安心ください。

なお、この説明文書の内容でわからないことや疑問点などがありましたら、研究担当者もしくは相談窓口へ遠慮なくお尋ねください

研究の目的

手根管症候群(母指から環指のしびれ、疼痛等が生じる疾患)は一般的な疾患でその原因としては糖尿病や腎機能障害等が知られている。解剖学的な破格である二分正中神経(通常 1 つにまとまっている正中神経が 2 つに分離した状態)、正中動脈(通常は胎児期に退縮する動脈がそのまま残存)の存在も手根管症候群の原因の一つとして言われていますが、明らかにはされていません。本研究の目的は手根管症候群のある人とない人の正中神経を超音波検査で観察して、二分正中神経・正中動脈の保有率を評価・比較し、これらの要因が手根管症候群の原因となりうるか調べることです。

研究の意義

二分正中神経・正中動脈の存在が手根管症候群の原因になりうるかどうかを明らかにすることは本疾患の病態の解明の一助となります

研究の方法

超音波装置を用いて両手関節部での正中神経の状態を評価し、手根管症候群例と正常例との間で解剖学的破格である二分正中神経・正中動脈の保有率に差があるかどうかを比較します

研究対象者

手根管症候群と診断された方、または正常例として関節リウマチ、透析、手関節外傷歴等の既往がなく、手根管症候群の症状がない方を対象としています

研究に参加する予定者数

200 名

研究参加予定期間

問診と超音波検査のみですので 15 分程度で終了します

患者さんの利益および不利益について

医学的に不明な点を解明する点では有益ですが、費用を含め患者さんへの利益および不利益はありません

また研究の参加は自由意志であり、同意されない場合や途中で撤回されても不利益を受ける事はありません

プライバシーの保護

氏名・住所等の個人情報 は保守し、研究に使用することや、部外へ公表することはありません

研究機関

白庭病院 整形外科 手外科班

お問い合わせ先

白庭病院 整形外科 田中 祥貴

電話:0743-70-0022